

鏡石町立鏡石中学校  
学校だより 第7号

# 最善美

「最善を尽くせ」  
「美しくあれ」

令和4年5月16日(月) 発行責任者：校長 津金光彦

岩瀬地区No.1の学校に～有言実行に期待！！



先週金曜日(13日)に開かれた「生徒会総会」。新型コロナウイルス感染拡大予防のため、放送での実施となりましたが、そのような中でも生徒会執行部、各専門委員会、各部活動代表の皆さんの熱い思いに触れることができました。

執行部は「挨拶と清掃面で岩瀬地区No.1の学校にする」というNo.1宣言が飛び出しました。また、各委員会や部活動からも「鏡中から事故をなくす」、「県大会出場」、「全ての大会で上位入賞」など、委員会活動や部活動をとおして、鏡中をよりよくしたい、という意欲を感じました。

「言うは易く行うは難し」～言うだけなら誰でもできますが、それを実行してはじめて価値が生まれます。鏡中生の「有言実行」を期待します！

ぜひ…移動図書館を利用しましょう！！



4月19日(火)を皮切りに、年間19回予定されている「移動図書館」。鏡石町図書館の職員の方が、鏡中生におすすめの本を運んでくださいます。時間帯は、お昼休みになります(年間の日程はホームページをご覧ください)。

さて、読書によるメリットは、以下のとおり、たくさんあります(Book Baumより引用)。

- ①国語力・語彙力がアップする
  - ②文章を書く力が身につく
  - ③偉人の考え方や言葉に触れることができる
  - ④コミュニケーション力がアップする
  - ⑤想像力が高まる
  - ⑥ストレス解消になる
- 等  
本は心の栄養素…読書は心の旅…1冊でも多くの良書に触れてほしいです。

## 「何もおきないこと」が一番の幸せ

福島県内の子どもたちの詩を紹介している「こどもの夢の青い窓」という冊子があります。その中に、次のような詩を見つけました。

『よかった。』

今日も、一日何もおきなかった。人間、生きている限り いつ、何がおきてもしかたない。  
だから、私は、今日、一日何もおきなかったことに感謝したい。(小学6年女子)

とかく、人は「何もおきないこと」を平凡ととらえがちになりますが、「何もおきないこと」こそが感謝すべきことであることを、この詩は教えてくれています。

国内に目を向けますと、北海道・知床半島沖での観光船沈没事故では、乗客・乗員26人中14名が亡くなり、12名は行方不明のまま。国外ですと、ロシアのウクライナ侵攻により、140人超の子どもたちの命が失われ、430万人の子どもたちが家を追われています。

「何もおきないこと」がいかにありがたいかは、私たちも11年前の東日本大震災のときに思い知らされたのですが、年月の経過で記憶の風化とともに、「何もおきないこと」のありがたみを忘れてしまっているのかもしれない。

今、改めて、「何もおきないこと」のありがたみを噛みしめたいと思います。

